

# 2020年 英語改革

なぜ、4技能が求められるのか

# グローバル化の進展

- 日本国内で働く外国人

2008年	▶	2017年
約49万人		約128万人

- 海外で暮らす日本人

2004年	▶	2017年
約96万人		約135万人







# 1 小学3、4年生で「**外国語活動**」

- 年間授業時間：**35時間**（週1コマ程度）
- 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむ
- 言葉としての面白さや豊かさに気づく
- 聞く・話すことの言語活動

2

## 小学5、6年生で「教科英語」

- 年間授業時間：70時間
- 成績（数値による評定）がつく
- 活字体の大文字、小文字の読み書き
- 語順への気付き
- 聞く、話す+文字指導（読む、書き写す）の導入





## 4-1 大学入学共通テスト

- 2技能「聞く・読む」から  
4技能「聞く、読む、話す、書く」へ
- 資格・検定試験を活用
- 2024年度以降の英語試験は、  
資格・検定試験に一本化の方向性
- 2020～23年度は、大学入試センターが  
作問する共通テストと資格・検定試験が併存

4-2

## 大学入学共通テスト

- 活用できる資格・検定試験（7種）
  - ▶ 「GTEC<sup>※1</sup>」、ケンブリッジ英語検定、TOEFL、IELTS、TOEIC、TEAP、実用英語技能検定（英検）<sup>※2</sup>
- 高校3年生の4～12月に受検した2回までの結果を利用

※1 「GTEC」は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

※2 「従来型」を除く、新設される「公開会場実施」「1日完結型」「4技能CBT」。

※ 英検<sup>®</sup>は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

すでに拡大している個別大学入試における  
「資格・検定試験」活用

多くの大学・短期大学の一般・推薦・AO入試で、  
「GTEC」のオフィシャルスコアが活用されている

大学入試採用数 **510** 校

※2018年10月現在（海外含む）/3技能受検の結果の採用校を含む

## 大学入試での活用パターン

- 書類審査
- 試験の代替
- 出願基準
- 加点
- みなし得点化 など